

【用語の説明】

施肥（せひ）→肥料をまくこと

下水汚泥肥料（げすいおでいひりょう）→下水から作った肥料

基肥（もとひ）→植える前にまく肥料

穂肥（ほひ）→植物がある程度成長してからまく肥料

圃場（ほじょう）→作物を育てるための畑や田んぼのこと

ペレット状肥料→小さな粒状に加工された肥料。均一にまきやすい

有機由来肥料（ゆうきゆらいひりょう）→動植物など自然の素材から作られた肥料

環境負荷（かんきょうふか）→環境に与える影響や負担のこと

保肥力（ほひりょく）→土が肥料の成分を保つ力。低いと肥料が流れやすい

実証試験（じっしょうしけん）→実際に使ってみて効果や安全性を確かめる試験

土壌分析（どじょうぶんせき）→土の成分や性質を調べること。作物の育ち方に関する

施肥設計（せひせつけい）→どの肥料をどれだけ、いつまくかを計画すること

区分（くぶん）→試験のために分けた畑の種類や条件の違い